

■藤原為家 公卿，歌人。定家の子で御子左家を嗣ぎ，後嵯峨院歌壇の中心になって，「続後撰集」「続古今集」を撰進した。

ふじわらのためいえ

・ ・ ・ ・ ・ 1198＝ 内大臣藤原実宗の娘を母に，「藤原定家の次男に生まれる。

源頼朝没 ・ ・ 1199＝ 1歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1202＝ 4歳：叙爵。

執権政治始 ・ 1203＝ 5歳：

モンゴル帝国 ・ 1206＝ 8歳：「従五位上。

専修念仏禁止1207＝ 9歳：この年から，「後鳥羽院に伺候し，

・ ・ ・ ・ ・ 1209＝11歳：侍従。

・ ・ ・ ・ ・ 1210＝12歳：左少将。「順徳天皇即位後は，その近習として親しく仕える。

方丈記 ・ ・ ・ 1212＝14歳：正五位下。内裏歌合。

北条頼権確立1213＝15歳：内裏歌合など，十代半ばから順徳天皇の内裏歌壇で活動が始めるが，

職人歌合 ・ ・ 1214＝16歳：従四位下。

蹴鞠に熱中して歌道に精進せず，父定家を歎かせる。

・ ・ ・ ・ ・ 1216＝18歳：従四位上となり，左中將に昇進。

「ようやく歌作に真剣に取り組み始め，

源実朝暗殺 ・ 1219＝21歳：正四位下。内裏百番歌合に出詠。

承久の乱 ・ ・ 1221＝23歳：「承久の乱後，順徳院の佐渡遷幸に際しては供奉の筆頭に名を挙げられたが，結局都に留まる。

運慶没 ・ ・ ・ 1223＝25歳：慈円の勧めで，五日間で千首歌を創作「為家郷千首」。

北条政子没 ・ 1225＝27歳：「蔵人頭。

公家將軍始 ・ 1226＝28歳：「参議に就任し，従三位に進む。

「やがて歌壇で幅広く活躍するようになり，

・ ・ ・ ・ ・ 1229＝31歳：女御入内御屏風和歌，

・ ・ ・ ・ ・ 1231＝33歳：正三位，

御成敗式目 ・ 1232＝34歳：洞院摂政家百首などに出詠する。

右兵衛督・右衛門督を歴任し，

金滅亡 ・ ・ ・ 1234＝36歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1235＝37歳：従二位，

・ ・ ・ ・ ・ 1236＝38歳：権中納言。

鎌倉大仏始 ・ 1238＝40歳：正二位。

・ ・ ・ ・ ・ 1241＝43歳：権大納言。＊父定家が死去すると御子左家を嗣ぎ，

鎌倉大仏完成1243＝45歳：河合社歌合，

北条時頼執権1246＝48歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1248＝50歳：「後嵯峨院御歌合などの判者を勤め，後嵯峨院から勅撰集単独編纂を仰せ付かり，

・ ・ ・ ・ ・ 1250＝52歳：民部卿。

・ ・ ・ ・ ・ 1251＝53歳：＊「続後撰集」として完成し奏覧。

皇族將軍始 ・ 1252＝54歳：

北条時頼出家1256＝58歳：＊病により剃髪し嵯峨中院山荘に隠棲したが，その後も歌作りは盛んで，

・ ・ ・ ・ ・ 1257＝59歳：「卒爾百首」，

二統分化の因1259＝61歳：「再び勅撰集単独撰進の院宣を受けるも，鎌倉將軍宗尊親王の勢威を借りて葉室光俊(真観)らが介入，結局

光俊ほか四人が撰者に加えられたを不快として選歌を放棄したと伝えられるが，

・ ・ ・ ・ ・ 1261＝63歳：「楚忽百首」「弘長百首」を詠むなどする。

北条時頼没 ・ 1263＝65歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1265＝67歳：＊「続古今集」として奏覧。

「晩年は側室の阿仏尼(安嘉門院四条)を溺愛し，その子為相に細川荘を与える旨の文券を書き，後に為氏・為相の遺産相続争いの原因を作って，

北条時宗執権1268＝70歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1270＝72歳：

元寇文永の役1274＝76歳：

元使斬殺 ・ ・ 1275＝77歳：「没した。

新勅撰集初出，勅撰入集333首，続拾遺集では最多人集歌人。家集は「大納言為家集」「中院集」「中院詠草」「別本中院集」が伝わる。歌論書に「詠歌一昧」，注釈書に「古今序抄」「後撰集正義」がある。

「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，インターネット，